

水城(国特別史跡, 続百名城)(太宰府市国分二丁目 17 番 10 号)(水城館)

水城(みずき)は、福岡県の太宰府市・大野城市・春日市にまたがり築かれた、日本の古代の城である。城跡は、1953 年(昭和 28 年)3 月 31 日、「水城跡」の名称で国の特別史跡に指定されている。

特徴

『日本書紀』に、「・・・また、筑紫国に大堤(おおつつみ)を築き水を貯へ、名づけて水城(みずき)と曰う」と、記載された城である。

白村江の敗戦後、倭国には唐・新羅軍侵攻の脅威があり、防衛体制の整備が急務であった。664 年の唐使来朝は、倭国の警戒を強めさせた。この年、倭国は辺境防衛の防人(さきもり)、情報伝達システムの烽(とぶひ)を対馬島・壱岐島・筑紫国などに配備した。そして、筑紫国における水城の建設である。

白村江の敗戦の翌年に水城が、そのまた翌年に大野城が築かれた。ともに大宰府の防衛のためである。水城は大野城のある四大寺山(大城山)と、西側の太宰府牛頸(うしくび)地区の台地の間の、一番狭いくびれ部を塞ぐ形で造られている。全長約 1.2 キロメートル×高さ 9 メートル×基底部の幅約 80 メートル・上部の幅約 25 メートルの二段構造の土塁で、東西の端部の東門と西門が開く。土塁の基底部を横断して埋設された木樋(もくひ)は、長さ 79.5 メートル×内法幅 1.2 メートル×内法高さ 0.8 メートルである。土塁の博多側の現水田面より 5 メートル下に、幅 60 メートル×深さ 4 メートルほどの外濠が存在する。水城は、平野を遮断する直線的な土塁と外濠をあわせもつ「城壁」(防塁)である。中央に御笠川が北流する沖積地の軟弱地盤に築かれる。土塁の最下層部に多量の枝葉を混入し、基礎地盤を強化する、敷粗朶(しきそだ)工法で施工されている。また、土塁の上層部は、土質の異なる積土を 10 センチメートルほどの単位で硬く締め固めて積まれた、版築(はんちく)土塁である。

水城は、博多湾側の福岡平野から筑紫に通じる平野を閉塞する「遮断城」である。東門と西門が設けられ、福岡方面から 2 道が通過していた。西門は 3 期の変遷が確認され、大宰府と筑紫館(後の鴻臚館)を結ぶ、儀礼的な外交の主要道として 8 世紀後半まで機能していたとされている。

水城の西方に、丘陵の間を塞ぐ複数の小規模の土塁遺構がある。水城と一連の構築物で、「小水城(しょうみずき)」と総称される。土塁の長さ約 80 メートルの「上大利小水城」・土塁の長さ約 100 メートルの「大土居小水城」・土塁の長さ約 80 メートルの「天神山小水城」などである。

天智政権は白村江の敗戦以降、唐・高句麗・新羅の交戦に加担せず、友好外交に徹しながら、対馬～九州の北部～瀬戸内海～畿内と連携する防衛体制を整える。また、大宰府都城の外郭は、険しい連山の地形と、それに連なる大野城・基肆城と平野部の水城大堤や小水城などで防備を固める。この原型は、百済の泗沘都城にあるとされている。

歴史

『日本書紀』に記載された、白村江の戦いと防御施設の設置記事は、下記の通りである。

663 年の白村江の戦いで、倭(日本)・百済復興軍は、朝鮮半島で唐・新羅連合軍に大敗した。664 年(天智天皇 3 年)には対馬島・壱岐島・筑紫国などに防人と烽(とぶひ)を配備し、筑紫国に水城を築く。665 年には長門国に城を築き、筑紫国に大野城と基肆城を築く。667 年には大和国に高安城・讃岐国に屋嶋城・対馬国に金田城を築く。この年、中大兄皇子は大津に遷都し、翌年の正月に天智天皇となる。

現代の調査研究

考古学的調査は、1913 年(大正 2 年)の黒板勝美・中山平次郎の土塁断面の調査と、1930 年(昭和 5 年)の長沼賢海・鏡山猛の木樋の調査があるが、本格的な発掘調査は 1970 年(昭和 45 年)に開始された。それ以降、福岡県教育委員会・九州歴史資料館・太宰府市・大野城市が、継続的に調査している。

1975 年(昭和 50 年)の発掘調査で、水城大堤の博多側に外濠が存在することが判明した。1978 年(昭和 53 年)の発掘調査で、8 世紀後半代の「水城」銘の墨書土師土器が発掘された。

2013 年から 2014 年にかけて、福岡県教育委員会は、100 年ぶりに土塁断面の再調査を行った。九州管内の城も、瀬戸内海沿岸の城も、その配置・構造から一体的・計画的に築かれたもので、七世紀後半の日本が取り組んだ一大国家事業である。

その他

- 九州旅客鉄道の鹿児島本線の「水城駅」は、『日本書紀』の「水城」に由来する。水城駅の近くで、列車は「水城の土塁切断部」を通過する。
- 平成 25 年～27 年の三か年にわたり、「水城・大野城・基肄城 1350 年記念事業」が企画され、関係自治体に加え、官民も連携した各種の記念事業が展開された。
- 2017 年（平成 29 年）、続日本 100 名城（182 番）に選定された。

Wikipedia による

